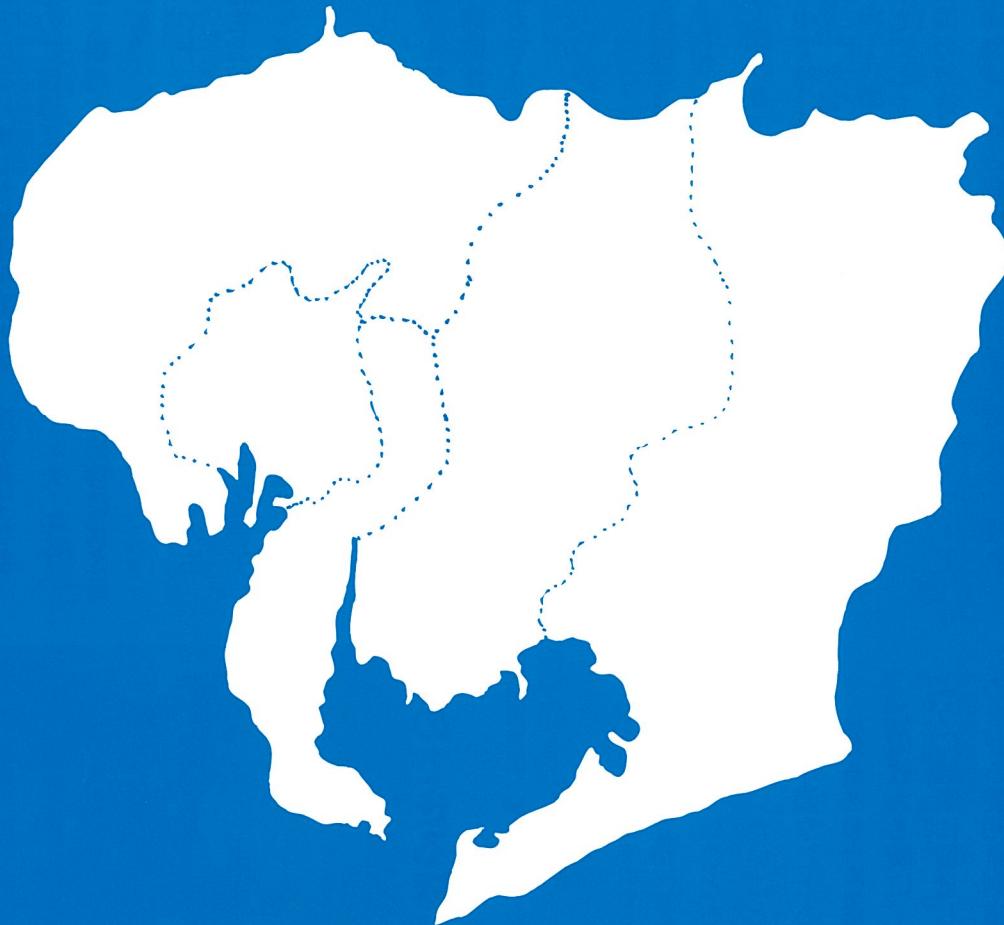


観の眼



— 目 次 —

卷頭言

トピックス① 国体成年の部準優勝	1	道場連盟だより	22
トピックス② 八段戦 東良美先生準優勝	2	高体連だより	23
トピックス③ 知多市ジュニアスポーツ育成剣道講座	4	中体連だより	24
トピックス④ 春日井市より新優勝旗寄贈される	7	おめでとう	27
トピックス⑤ 女子部審判講習	8	八段にご昇段された先生方	29
特集 1 愛知県合同稽古会	9	女性剣道七段の誕生続く	30
特集 2 愛知県四・五段審査について(分析)	12	地区だより	32
特集 3 中学校授業協力者養成講習会開催	15	26年度役員	34
「中学校武道」外部指導員の経験から	17	剣道・居合道・杖道 審査料・登録料	35
居合道だより	19	計報	36
杖道部会の活動	20	五地区連盟所在地	36
実業団剣士の稽古の取り組みについて	20	愛剣連ホームページ案内	37

第38号



一般
財団
法人

愛知県剣道連盟

愛知県剣道連盟会員の皆様今日は。今年度から副会長を務めさせていただきましたことになりました後藤英壽です。浅学菲才な者ですが会員の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。自己紹介を兼ねて雑感を述べさせていただき、ご挨拶に代えさせていただきます。

私も教職を引いて十二年目になります。今は剣道を中心の生活です。地域の稽古会等に積極的に参加し、多くの知己を得て稽古のできる喜びを満喫しております。現職のときは高校生の部活動指導に夢中で地域の方々との剣道を通しての交流はほとんどありませんでした。このような状況を一変させてくれたのが、地元少年剣道教室の指導員の一員に加えていただけいたのがきつかけとなりました。

少年剣道教室の指導にあたって心構えとして二つのことを念頭におきました。その一つは、山本五十六の言葉とされる「やつて見せ言つて聞かせてやらせて見て褒めてやらねば人は動かず」です。この中で特に重視したのが「褒める」ということです。褒めることによって、子どもに自信と勇気を持たせ、やる気を喚起することでした。

もう一つは、英國の教育学者ウイリアム・アーサー・ワードの言葉で「良い指導者は、かみ砕いてわかり易く教える。優れた指導者は、理解させたうえで考えさせる。偉大な指導者は、



一般財団法人 愛知県剣道連盟 副会長

後 藤 英 壽

●泣きたいことがあるだ

ろう

心に火をつけ、やる気を起させる」ということです。この教えも言葉は平易で分かりやすいのですが、実践は大変難しいです。それは「常尽全力」という言葉です。この文言を豊橋中央高等学校の権田拓朗先生に書を依頼して、掛軸にしていただきました。これが私の座右の銘です。そして、これも山本五十六の言葉だそうですが、「男の修行」として

思っています。そして、常に全力を尽くして指導に臨むことでも言葉は平易で分かりやすいのですが、実践は大変難しいです。「言つは易し 行いは難し」の諺のとおりです。

この教えを実践するためには、先ず小学生低学年の子どもにも理解することのできる言葉遣いと話術の勉強が不可欠だと思います。この心構えを怠るがないように、造語を考えました。それは「常尽全力」という言葉です。この文言を豊橋中央高等学校の権田拓朗先生に書を依頼して、掛軸にしていただきました。これが私の座右の銘です。

そして、これも山本五十六の言葉だそうですが、「男の修行」として

た。これが私の座右の銘です。

そして、これも山本五十六の言葉だそうですが、「男の修行」として

た。これが私の座右の銘です。

たのが、地元少年剣道教室の指導員の一員に加えていただけいたのがきつかけとなりました。

少年剣道教室の指導にあたって心構えとして二つのことを念頭におきました。その一つは、山本五十六の言葉とされる「やつて見せ言つて聞かせてやらせて見て褒めてやらねば人は動かず」です。この中で特に重視したのが「褒める」ということです。褒めることによって、子どもに自信と勇気を持たせ、やる気を喚起することでした。

もう一つは、英國の教育学者ウイリアム・アーサー・ワードの言葉で「良い指導者は、かみ砕いてわかり易く教える。優れた指導者は、理解させたうえで考えさせる。偉大な指導者は、

トピックス 1

第六十八回国民体育大会 成年男子の部

十九年ぶり決勝進出 準優勝!

一はじめに

平成二十五年九月二十九日から十月一日までの間、東京武道館において第六十八回国民体育大会が開催された。出場選手は次の通りである。

先鋒 木谷 洋亮（愛知県警察）
次鋒 津田剣太郎（愛知県警察学校）

中堅 曽根 武仁（名古屋刑務所）
副将 中村 隆信（愛知県警察）

大将 山崎 尚（中部管区警察学校）

四月の予選会を勝ち抜き、本大会に向けて国体監督祝要司先生、県剣道連盟強化委員長東一良先生をはじめ強化委員の先生方のご指導の下、ほぼ毎週土曜日に行われる国体強化練習、熊本・広島への遠征訓練において、選手個々の技術向上、チームワークの醸成に励んできました。

二 本大会では

国体監督であった祝先生が大会審判員に指名され、代わって安部理事長が監督になられた。大会前日は、

「思い切って戦えば自ずから結果が



次鋒津田選手、活躍著しい千葉小谷選手に値千金の勝利。

中堅曾根選手、各大会で活躍する

まずは「一回戦」という気持ちで挑んだ

長野戦、前衛三人が勝利、四対一で

突破。「二日目に残りたい」という思

いで挑んだ香川戦、接戦の末大将戦、

三対二で勝利し、一日目を終えた。

筆者（中村）のみ二敗。前回大会

一回戦、自身の敗戦で勝負が決まり、

今回もチームが負けていたら「愛知

には帰れない」という気持ちで、他

の選手の活躍に感謝であった。

二日目、「賞状をもらおう」（ベス

ト8になれば第五位の表彰）との思

いで挑んだ千葉戦は三対二で勝利。

アッ。」「次も勝とう」という合言葉

で挑んだ強豪埼玉戦を四対一で勝利

し、準決勝滋賀戦では三対一と快勝

し、十九年ぶりの決勝進出となつた。

決勝戦の相手は地元東京。「ここ

まで来たら勝ちたい」と、今までの

結果に満足することなく、いざ決戦。

最後の試合ということで、これまで

以上の気迫溢れる攻撃剣道で立ち向

かった結果、試合は互角の接戦、二

まさに切り込み隊長としての活躍。
先鋒木谷選手、準決勝まで全勝、
対三で惜敗となつた。

まさに切り込み隊長としての活躍。

三 おわりに

次鋒津田選手、活躍著しい千葉小

谷選手に値千金の勝利。

中堅曾根選手、各大会で活躍する

まずは「一回戦」という気持ちで挑んだ

長野戦、前衛三人が勝利、四対一で

突破。「二日目に残りたい」という思

いで挑んだ香川戦、接戦の末大将戦、

三対二で勝利し、一日目を終えた。

筆者（中村）のみ二敗。前回大会

一回戦、自身の敗戦で勝負が決まり、

今回もチームが負けていたら「愛知

には帰れない」という気持ちで、他

の選手の活躍に感謝であった。

二日目、「賞状をもらおう」（ベス

ト8になれば第五位の表彰）との思

いで挑んだ千葉戦は三対二で勝利。

アッ。」「次も勝とう」という合言葉

で挑んだ強豪埼玉戦を四対一で勝利

し、準決勝滋賀戦では三対一と快勝

し、十九年ぶりの決勝進出となつた。

決勝戦の相手は地元東京。「ここ

まで来たら勝ちたい」と、今までの

結果に満足することなく、いざ決戦。

最後の試合ということで、これまで

以上の気迫溢れる攻撃剣道で立ち向

かった結果、試合は互角の接戦、二

まさに切り込み隊長としての活躍。

三 おわりに

次鋒津田選手、活躍著しい千葉小

谷選手に値千金の勝利。

中堅曾根選手、各大会で活躍する

まずは「一回戦」という気持ちで挑んだ

長野戦、前衛三人が勝利、四対一で

突破。「二日目に残りたい」という思

いで挑んだ香川戦、接戦の末大将戦、

三対二で勝利し、一日目を終えた。

筆者（中村）のみ二敗。前回大会

一回戦、自身の敗戦で勝負が決まり、

今回もチームが負けていたら「愛知

には帰れない」という気持ちで、他

の選手の活躍に感謝であった。

二日目、「賞状をもらおう」（ベス

ト8になれば第五位の表彰）との思

いで挑んだ千葉戦は三対二で勝利。

アッ。」「次も勝とう」という合言葉

で挑んだ強豪埼玉戦を四対一で勝利

し、準決勝滋賀戦では三対一と快勝

し、十九年ぶりの決勝進出となつた。

決勝戦の相手は地元東京。「ここ

まで来たら勝ちたい」と、今までの

結果に満足することなく、いざ決戦。

最後の試合ということで、これまで

以上の気迫溢れる攻撃剣道で立ち向

かった結果、試合は互角の接戦、二

まさに切り込み隊長としての活躍。

三 おわりに

次鋒津田選手、活躍著しい千葉小

谷選手に値千金の勝利。

中堅曾根選手、各大会で活躍する

まずは「一回戦」という気持ちで挑んだ

長野戦、前衛三人が勝利、四対一で

突破。「二日目に残りたい」という思

いで挑んだ香川戦、接戦の末大将戦、

三対二で勝利し、一日目を終えた。

筆者（中村）のみ二敗。前回大会

一回戦、自身の敗戦で勝負が決まり、

今回もチームが負けていたら「愛知

には帰れない」という気持ちで、他

の選手の活躍に感謝であった。

二日目、「賞状をもらおう」（ベス

ト8になれば第五位の表彰）との思

いで挑んだ千葉戦は三対二で勝利。

アッ。」「次も勝とう」という合言葉

で挑んだ強豪埼玉戦を四対一で勝利

し、準決勝滋賀戦では三対一と快勝

し、十九年ぶりの決勝進出となつた。

決勝戦の相手は地元東京。「ここ

まで来たら勝ちたい」と、今までの

結果に満足することなく、いざ決戦。

最後の試合ということで、これまで

以上の気迫溢れる攻撃剣道で立ち向

かった結果、試合は互角の接戦、二

まさに切り込み隊長としての活躍。

三 おわりに

次鋒津田選手、活躍著しい千葉小

谷選手に値千金の勝利。

中堅曾根選手、各大会で活躍する

まずは「一回戦」という気持ちで挑んだ

長野戦、前衛三人が勝利、四対一で

突破。「二日目に残りたい」という思

いで挑んだ香川戦、接戦の末大将戦、

三対二で勝利し、一日目を終えた。

筆者（中村）のみ二敗。前回大会

一回戦、自身の敗戦で勝負が決まり、

今回もチームが負けていたら「愛知

には帰れない」という気持ちで、他

の選手の活躍に感謝であった。

トピックス 2

八段戦 四先生健闘 東良美先生準優勝に輝く

東 良美先生



私にとって、日ごろから故榎原正先生の書である「求める味」を繰り返し繰り返し読み返すことが日々の修行の根本になっています。前回大会で悔しい思いをしたこと、自分に克つこと、間合いに流さ

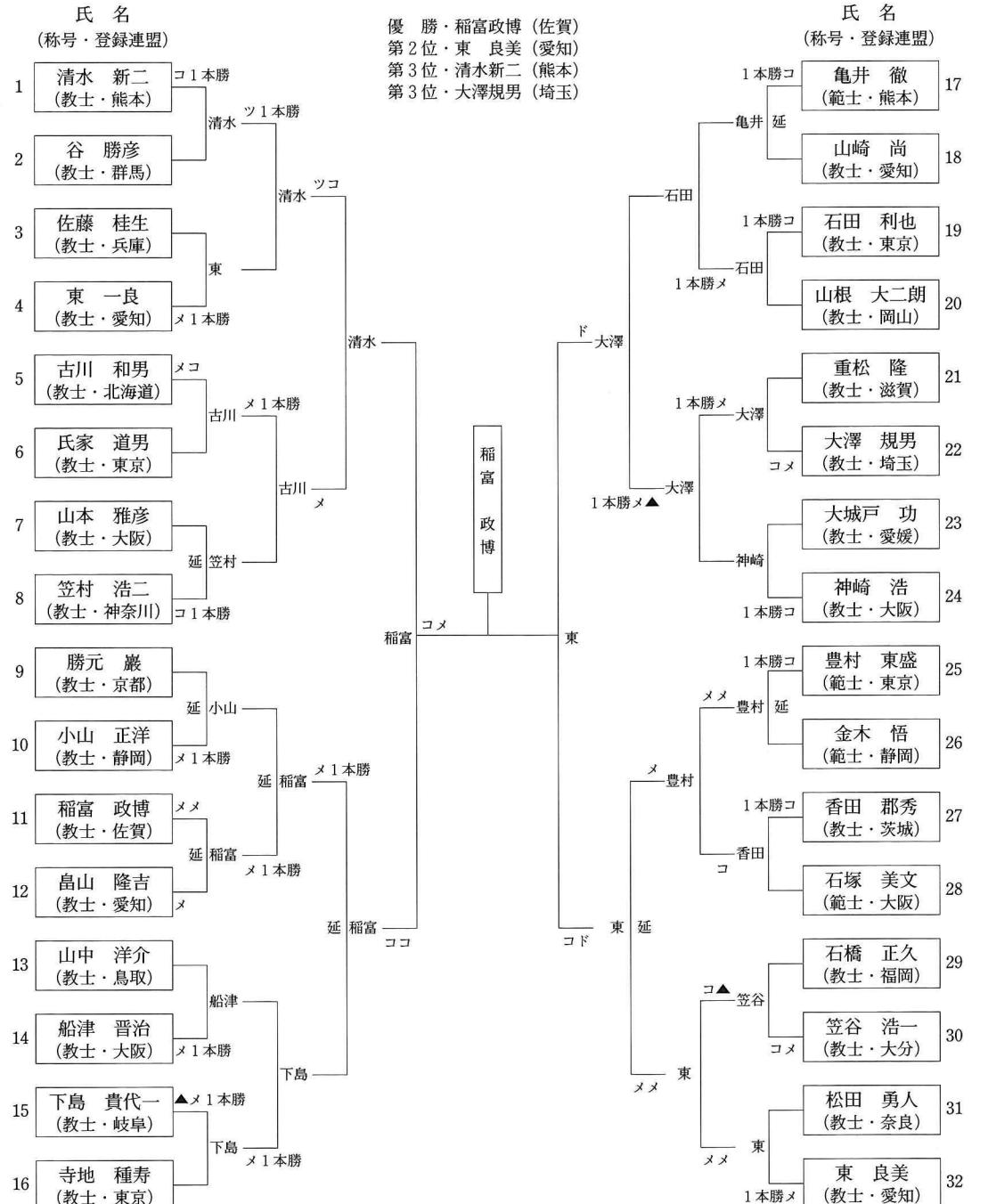


れないうように気をつけるようになります。それが、自分の持っている運を呼んだといえるのではないでしようか。川の流れに立ち向かうときの命がけの心境のように、無心で技につなげられるよう、打つ前の体勢ができていたと思います。

年齢のこともありますが、今回の試合が最後のつもりで、自分を出し切ることができました。またこのようない出場の機会がありましたら、全力で頑張りますのでよろしくお願ひします。

あると思います。これは、氣と間の関係を意味し、心の変化が虚実に表れるのだと思います。これからは、余分な念が浮かばないような質の良い稽古に努めていきたいと思います。

内閣総理大臣杯授与
第12回 全日本選抜剣道八段優勝大会
平成26年4月20日(日) 於・名古屋市中村スポーツセンター



僕らも日本武道館を目指す

旭南小五年 宮下凌空・岳士



僕たち双子の兄弟は、旭南剣道教室で剣道を習い始めてもうすぐ二年になります。

ある日、先生が今度全日本で優勝した先生方が来てくれる講習会があるぞ！行くか？と言いました。僕は、お父さんがビデオに撮った全日本の試合を観たことがあったので、「そんなスゴイ人達に教えてもらえる！行きたい！」と思い、その日を楽しみにしておりました。東先生と近本

先生の試合稽古を見ましたが何故か緊張してしまいました。東先生と近本と今度も稽古してもらえる日を楽しみにしています。僕たちも大人になつたら必ず日本武道館で試合をします。

トピックス 4

春日井商工会議所会頭
松尾 隆徳氏

「剣道の町」春日井市より、
新たに優勝旗を寄贈される



愛知県剣道連盟様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、当所の活動にご理解を賜り厚く御礼申し上げます。当所は春日井市内で毎年「全国高等学校剣道選抜大会」と「全日本女子学生剣道優勝大会」という二つの全国規模の剣道大会が開催されることから、「剣道のまち 春日井」の地域ブランドを推進しております。各都道府県の予選を勝ち抜かれた選手の方々、関係者をはじめ、応援の方々が春日井の地に集まっています。ここは、頼つてもない光榮なこ

とです。

この度、これまで大会を支えてこられた東海旅客鉄道株式会社様から、大会の運営体制を春日井市と春日井商工会議所へ全面的におまかせ頂いたことを機に、第二十三回全国高等学校剣道選抜大会に新たな優勝旗を作製し、贈呈させていただきました。男子は薄い青（縹色）、女子はファイヤーレッドで、図柄は防具に「桜の花びら」、竿頭に「市章」をあしらっております。

新優勝旗の名称は、この剣道大会が、春日井市民、更には全国の剣道ファンの大切な大会と考え、春日井市民をはじめとして広く名称を公募し、北は秋田県から南は広島県まで、七歳から七十代まで約一〇〇通の応募があり、その中から、「春桜旗（しゅんおうき）」と命名いたしました。春日井市の「春」と、市の花、日本精神の象徴、三月春に咲く「桜」をイメージしております。春桜旗が、選手の方々の活躍のシンボルとして、末永く愛されていただければ、こんなに嬉しいことはありません。

また大会の開催を通して、市民が交わり、剣士皆さん夢を私達市民の夢にまでしてゆく。「守・破・離」



見取稽古から学ぶ警察剣道のすこさ

愛知県立半田工業高校教諭
森川 昭仁

はじめに東先生からのお話がありました。若手警察官の紹介の中で警察では何が大切かというと、剣道と一緒に「強く、正しく、思いやり」

の学ぶ姿を地域に定着させて参ります。地域産業と剣道との連携を通じ地域経済の活性化に挑みます。地元では、大会を盛り上げるために懸垂幕やのぼり旗、ご当地ハローキティが皆さんをお待ちします。

今後も当所では、春日井市を「剣道のまち」、「剣道の聖地 春日井」という地域ブランドに向け推進していくとともに、当大会が更なる発展を遂げることを祈念しております。

（構成 大崎 保）

ました。そして剣道では声が一番大事であり、「声の出し過ぎは怒られないが声を出さないと怒られる。」とに触れ、東先生が監督のときに行つたことをこの講座でみんなと一緒に触りました。そして、まずは稽古が大切であることを話され、その中で「一眼一足三胆四力」について「先ずは観る目が一番、自分で防具を持って稽古に出向く、打たれても前に出続ける稽古を続ければ道が開けてくる、力は剣道の技術だけではなく、知力すなわち勉強もしなくてはならない。」というように子供たちにとてもわかりやすく説明をしてくださいました。このようにたいへん丁寧に話をしていたあとに若手選手の号令のもと、ランニング、準備体操を行い、次に近本先生の指導のもと素振りを行いました。素振りでは、肩をしっかりと使い、手の内が緩まないこと、左手の位置、右手の位置、切っ先は自分の目線よりもや下、左足の引きつけ、つま先を上げないことなど細かいところまで非常にわかりやすく指導してくださいました。

今回の講座は、子供たちはもちろんのこと、我々指導者にとっても大変勉強になり、すばらしい経験をさせて頂きました。これからもこの講座で学んだことを生かし、稽古に励みたいと思います。

トピックス 5

女子部の審判講習会で
学んだこと

尾張地区（藤山台剣友会）

近藤 風花



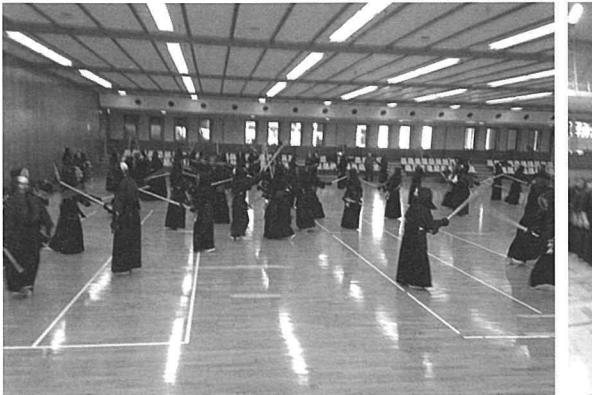
ことによって気づかされた点が多くあり、審判員の立場では、常に試合者の先の動きを予測しなければならないこと、そして試合を活性化させる働きかけの意識を持つことなどを学びました。まるで審判員も試合者と同じようにその試合に参加しているような気持ちになり、審判員は判定を行うだけでなく「始め」の一言も、試合者が「よし、やってやるぞ」という気になれるように、尊重する思いを持って務める役であると知りました。

三月十三日、愛知県剣道連盟の山本重夫先生、安部秀利先生をお招きし、約百名程の三段以上の受講者が集まる中、愛知県女子部の審判講習会が小牧市スポーツ公園総合体育館で開催されました。愛知県女子七段の先生方のご指導の下、各段位別にグループに分かれ、受講者が審判・試合者・記録の様々な立場を体験することで目が養われ、有意義な講習会となりました。

私は昨年から、こちらの講習会に毎年連れられ参加させて頂き、その時はまだ試合者の感覚しか持つていませんでした。しかし、講習会を通して、審判員の立場を初めて体験した今後剣道を続けていく上で審判の立場から気づくことというのは、私自身の取り組む姿勢によって観えてくるものが違うと思います。見極められる力をつけ、学ぶ意欲をもち、自身の剣道へもつなげたいです。

また、女子部の方々から学べることは、家庭の仕事も忙しい中、この講習会のために時間を作って足を運んでいること、剣道への愛を感じ、とても素敵な方々ばかりです。

立派な先輩方を目標に、今後もこのような講習会の場に積極的に参加し、女子部の更なる発展を期待したいと思います。



特集 ①

中広い年代の剣士が集う

「交剣知愛」の輪を広げよう

愛剣連剣道合同稽古会は、毎月第一・三月曜日十九時から二〇時三十分まで、枇杷島スポーツセンターで開催されています。

参加者と指導者の熱意により、内容が充実してきたためか、参加者が増え、剣道場では狭くなり、平成二十五年度からメインアリーナを使用しています。

参加者の年代別・段位別等の実績と参加者の感想文は、別に掲載していますので、参考にして下さい。

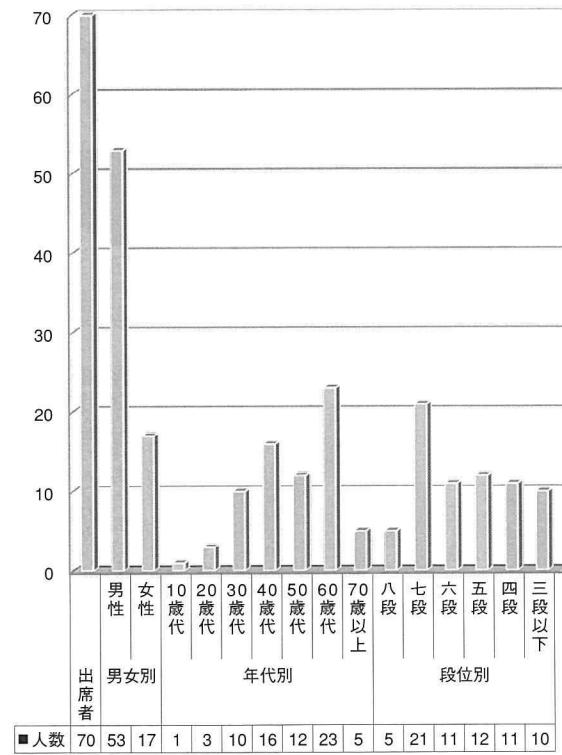
稽古会では、一〇歳代から七〇歳代までや、八段の先生から三段位までと、いろいろなタイプの方々と「剣」を交えることが出来ます。

特に、八段の先生方からは、昇段審査会のポイント等を懇切丁寧な指導が受けられます。是非、稽古会に参加していくだけ、愛剣連会員間の交流を深め、

個々人の技能の向上に努めるとともに、愛剣連の剣道の更なる普及発展に繋げていきたいものです。

（安部 秀利）

合同稽古会の参加者 (H26.4.21)



参加者		人数	割合
男女別	男性	53	76%
	女性	17	24%
年代別	10歳代	1	1%
	20歳代	3	4%
	30歳代	10	14%
	40歳代	16	23%
	50歳代	12	17%
	60歳代	23	33%
	70歳以上	5	7%
段位別	八段	5	7%
	七段	21	30%
	六段	11	16%
	五段	12	17%
	四段	11	16%
	三段以下	10	14%
<備考>		・未記入者12名 (70+12=82名)	

愛知県合同稽古会に参加して

西三河

山口 照義



昨年の四月から県剣連合同稽古会に参加させていただきました。渡並直先生から「自分の目標に少しでも近づける為にも良い稽古だから参加してみてはどうか」とお誘いをいただきました。

初めは刈谷から名古屋まで、月二回、月曜の夜という事もあり継続して参加できるか自信はありませんでしたが、一年間休む事なく参加でき自分も少し驚いています。

自分の地域での稽古会では、なかなか上手の先生に稽古をお願いし、自分の悪いところを示唆していただき初めて会場に来たときは、元立ちの先生方や稽古会に参加している皆様の熱気や真剣さがビシビシ伝わり興奮したことを覚えています。

稽古では、並んでいるときに前の方の稽古を見て勉強し、自分が懸かる時には今までの稽古内容を試すつもりでお願いしています。その時いたいた指導を、地元に帰り稽古を重ね、昇段審査に向けて精進しています。

今思えば参加する前の心配は必要なく、稽古会を通じて沢山の方との輪を剣道の強さとともに広げていきたいと思います。

尾張 玉井 宏和



枇杷島スポーツセンターで行われる県の稽古会は第一・第三月曜日の二回行われています。

感のある若手剣士、稽古会を和ませてくれます強くて美しい女性剣士等多数参加している稽古会です。

次回も是非稽古をお願いしたいと思つております。

私の目標のひとつに「あの人ともう一度稽古がしたい」と思われるよう正しく美しい剣道を心掛けたいと思つております。

自分勝手な剣道ではなく相手と調和する気持ちで対峙できるよう努力しております。毎回参加者が七十名位ですが会場も二階アリーナで行っていますので充分なスペースがあります。

今回は西三河地区の皆さんが大勢参加していただけたらと投稿させて頂きました。

私も体が健康である限り参加し続

楽しく活気あふれる稽古会です。

今年度の稽古日程表には「交剣知愛の輪を広めましょう」と記載されています。

私は毎年一度だけただけたらと投稿させて頂きました。

県稽古会では毎回、八段の先生が六・七名参加され直接指導が受けられる事ができ、さらに練度を重ねられた七段の先生方、力強くスピード

しました。

「今まではいけない」と感じていたときに、後輩の誘いもありこの稽古会に参加することになりました。初めて会場に来たときは、元立ちの先生方や稽古会に参加している皆様の熱気や真剣さがビシビシ伝わり興奮したことを覚えています。

稽古会の流れとして、体操、素振りから始まり、お互いに相手をつくり切り返し、基本、地稽古を約十五分から二十分程度行つた後で八段・七段の先生が元立ちに立たれる指導稽古が約四十分から四十五分という流れで行われてあります。

この稽古会は県に在住、在勤している方なら誰でも参加でき、普段稽古をお願いするのが難しい先生方に古を通じて交剣知愛の輪が広がっていく事等、この稽古会は参加するメリットのある会であると私は実感しております。なぜなら、私自身、六段昇段に二回失敗して悩んでいた時、不定期に参加していたこの稽古に休みます。

まず参加し、先生方に稽古をつけていただき、アドバイスをいただいて日々反省して自信の糧とし努力した結果、三回目の挑戦で目標のひとつにしておりました六段の昇段を果たすことができました。

昇段後も第一と第三の月曜日はどんな事があつてもこの稽古会に参加できるよう時間をつくり休むことなく参加し汗を流しています。

また、私だけでなくこの稽古会に参加される先生方は皆様一所懸命に

尾南 武石 臣蔵



私がこの稽古会に参加するようになつたのは二年前からです。剣道が少しでも上達したいと思い、友人に「どこか私でも参加できる稽古会がありますよ」と教えていただきたのがきっかけでした。

この稽古会には、八段の先生から知剣連主催の誰でも参加できる稽古会があります。

中には全国で活躍されている先生方も参加されています。

稽古会に参加し始めた頃は「私のようないいものが参加しても良いのだろうか」稽古について行けるのだろうか」という不安な気持ちがありましたが、参加している方の多くは私のようになりたい、強くなりたいと願う方ばかりなのですぐに打ち解けることが出来ました。

稽古会に参加すると理事長の安部方も参加されています。

稽古で努力し昇段をされています。

しかし、一つ残念なこともあります。それは、二十代から三十代の方達の参加が非常に少ない事です。

剣道は社会人になると稽古量が減り妥協してしまう事もあるかも知れませんが、自ら求めて稽古環境を自分で設けるべきだと思います。

私も目標に向かつてこの稽古に参加しております。

是非皆様にもこの稽古会に参加して頂きたいと思います。

私は毎年一度だけただけたらと投稿させて頂きました。

昇段審査に挑戦するものの、自分の力不足を実感していました。地元の稽古では形ばかりを気にしてしまって自分勝手に出て行つては打たれてしまつでした。

去年の六月より稽古会に参加しています。

それ以前にも参加したいと思っていましたが、「自分みたいな強くもないものが参加していいのか」とい

う心配があり、なかなか足が向きませんでした。

昇段審査に挑戦するもの、自分の力不足を実感していました。地元の稽古では形ばかりを気にしてしまって自分勝手に出て行つては打たれてしまつでした。

県連稽古会の魅力は大きく分けて三つあると思います。

一つ目、七・八段の先生方が大勢参加されていて稽古をつけて下さることです。

二つ目は、先生方の稽古が間近で見ることができることです。足の運び方や間合いの入り方などとても勉強になります。

また、八段の先生方同士で稽古を

先生のお話からよく「交剣知愛」という言葉を聞きます。この稽古会で知り合った方々にほかの稽古会に誘つて頂けたり、昇段審査や色々な大会に出場した際にお声をかけて頂けたりと、交剣知愛を実感できる稽古会だとおもいます。

家庭や仕事の都合で思うように稽古が出来ないこともありますが、これからもできる限りこの稽古会に参加していきたいと思います。

尾南 大平 直樹



私は色々な場所での練習会に参加させて頂いておりますが、その中でも愛知剣連合同稽古会はとても楽しんでいます。

この稽古会の魅力は何といっても八段の先生方がたくさんみえ、直接

名古屋 吉野 仁美



県連稽古会の魅力は大きく分けて三つあると思います。

一つ目、七・八段の先生方が大勢

参加されていて稽古をつけて下さることです。

二つ目は、先生方の稽古が間近で見ることができます。足の運

び方や間合いの入り方などとても勉強になります。

名古屋 和田 布美子



私は色々な場所での練習会に参加させて頂いておりますが、その中でも愛知剣連合同稽古会はとても楽しんでいます。

この稽古会の魅力は何といっても八段の先生方がたくさんみえ、直接

指導をして頂ける事だと思います。普段の練習量では味わえない緊張感を持って剣道が出来ますし八段の先生の気迫はやはり違います。

そして、七段の先生方もとても多く良いところを引き出して下さいます。県内から沢山の剣友が来ているのでとても楽しく充実した稽古がでています。

時々、特練の方々もみえるので、立ち姿から素振りなどとても綺麗で見ていて感動します。

地稽古もさせて頂くこともできるので、きれいで強い剣道を目指している私にとってはとても刺激的で改めてプロの剣道の素晴らしさを学ばせてもらえるのも魅力の一つです。以前、どこかで県連の稽古会の話をしたところ一度も八段の先生と稽古したことがないという方や「もつと剣道がやりたいけどどこかな」「か」など、なかなか八段の先生の指導を受ける機会がないという方がみえました。

もちろんこの合同稽古会の魅力を伝え、今では毎回一緒に汗を流しています。

時には厳しいこともあります、それも含めて剣道を心から楽しめる

場所だと思います。健康で剣道を学べるという事に感謝し、これからも参加させて頂きました

いとります。

よろしくお願ひ致します。

愛知県四・五段審査について(分析)

特集 ②

積極的なチャレンジを!

審査委員会 委員長



祝 要司

表をご覧いただくと理解できるのではないかでしょうか。全体でも四段合格者率30%、五段合格者率26%の人

が合格しております。

年代別では、四段・五段とも四〇才代と五〇才代を除いて平均して高い合格率と成っています。同年代の人と立会いをするわけですから、その年代での剣道が四・五段として修

行されているかどうかの判断だからこの様な結果になると考えます。よく試験は若い人が受かりやすく、年齢と共に難しくなると思いがちですが決してそうではありません。若い人が多く受かるのは受験者も多いからです、年代ごとの合格率を見ると理解いただけます。受からないのは自分の受験内容にあることに気付かなければいけません。

◎四・五段審査は困難な審査ではない:

平成二十六年四月二十七日に実施いたしました審査会のデーター分析と、実際受験に臨む心構え、日頃の稽古について書きたいと思います。

審査合格が大変困難だと思っているのは大きな間違いです。データー

- ◎審査とは… 日頃の稽古内容を披露しその受験段位に到達しているかを評価され判定されるものです。したがって、その日だけ自分を力量以上に見せようとした取組みであれば巧くいくはずがありません。
- 判定は次の基準でおこなわれます。日頃の稽古が判定基準に即した内容である事が大事です。

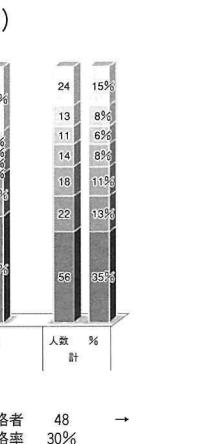
段位に到達しているかを評価され判定されるものです。したがって、その日だけ自分を力量以上に見せようとした取組みであれば巧くいくはずがありません。

段位に到達しているかを評価され判定されるものです。したがって、その日だけ自分を力量以上に見せようとした取組みであれば巧くいくはずがありません。

- 四段は、剣道の基本と応用を修熟し、技量優良なる者
- 五段は、剣道の基本と応用に鍛錬し、技量秀なる者
- この基準に沿った稽古をする必要があります。

基本の修熟・鍛錬とありますのが『充実した氣勢・適正な姿勢・打突部で打突部位を・刃筋正しく打ち・残心がある』等を身につけることです。応用や、技量優良・秀なるには『機会・間合・体捌き・強さと冴え・手の内の作用』等をしっかりと身につけるものです。これらのこと総合して身につけると『氣・剣・体一致の技』となります。この氣・剣・体一致を目指して稽古に取組むことで

おこなわれます。



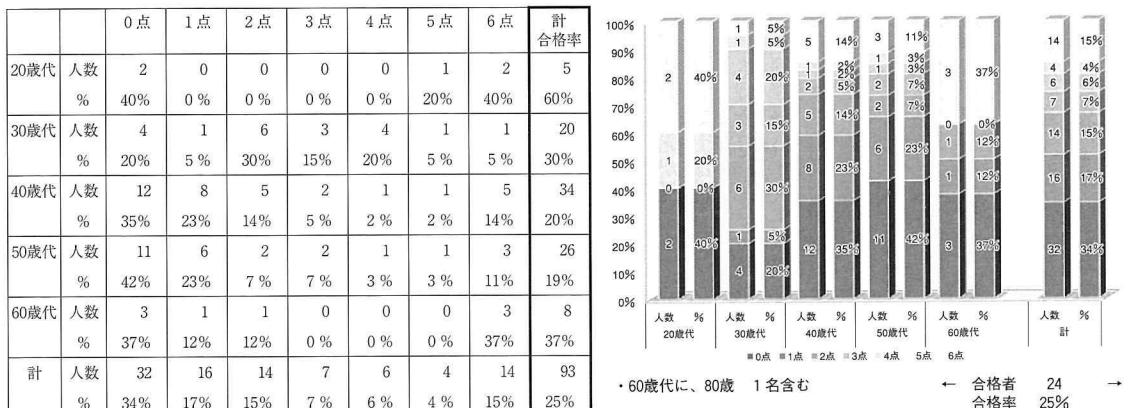
・60歳代に、70歳 1名含む ← 合格者 合格率 48 30% →

剣道四段実技年代別受審者・合格者

	受審者	合格者	合格率
20歳代	64	26	41%
30歳代	24	9	38%
40歳代	31	5	16%
50歳代	27	4	15%
60歳代	12	4	33%
計	158	48	30%

・60歳代に、70歳 1名含む

剣道五段実技得点年代別分布

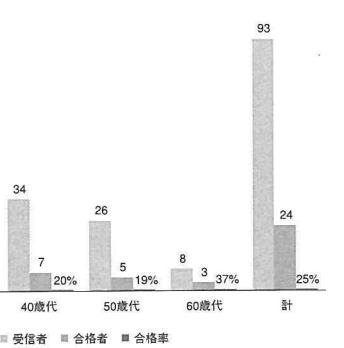


・60歳代に、80歳 1名含む ← 合格者 合格率 24 25% →

剣道五段実技年代別受審者・合格者

	受審者	合格者	合格率
20歳代	5	3	60%
30歳代	20	6	30%
40歳代	34	7	21%
50歳代	26	5	19%
60歳代	8	3	38%
計	93	24	26%

・60歳代に、80歳 1名含む





「中学校武道」外部指導員の経験から

武徳館剣道教室館長 田村 彰大

これまで十七年の間、名古屋市内の複数の中学校で、外部指導員として一般の生徒に剣道を教える場を頂き、また平成二十三年度からは名古

屋市「キャリアマイスター」という新制度の下で名古屋市内五校の中学校において剣道指導をして参りました。これまでの授業の現状や課題をいくつか紹介させて頂きます。

「キャリア・マイスター」とは、学校外部の経験豊かな人材がもつ多様な社会経験・資格や特技を学校現場に取り入れることにより、学校の活性化を図るとともに、名古屋市立小・中学校の児童・生徒の豊かな人間性と社会性の育成を支援するために名古屋市教育委員会が毎年募集を開き十六名ほど採用する。採用者の経歴はさまざまで、気象予報士・介護福祉士・ピアノ講師・アナウンサー・英会話講師・旅行代理店などで、各専門性が生かされる教科を担当します。私はその中の一人として体育教師と一緒に剣道指導を行います。

第一章 担当教諭との打合せ
実際に授業に入る前には必ず担当教諭（体育の先生）と授業時間数や授業内容の事前打ち合わせが大切であります。また、生徒ひとり一人の様子（性格・持病など）やクラスの雰囲気も伺う事も授業の進め方に参考になるかと思います。



第二章 剣道への心構え

一回目の授業では、まず教室にて実技授業の流れや「武道の心構え」など、講話形式にて始めます。その中で重視している点は「刀から生まれた言葉」と題してプリント配布して、実際に模擬刀で説明をします。今後の授業の中の竹刀は「刀」を意識させるうえで大変重要であり、かつ生徒の竹刀の取り扱い方が変わ

り事故防止（怪我などの）にも役だっています。

更には最近では男女共修の学校も多くみられるようになりましたので、それら全般含めて事前打ち合わせはしっかりと行う事が大切であります。

第三章 授業内容

（二回目以降の授業）

格技場での授業の最初は「礼に始まり礼に終わる」教えの実践指導から行って参ります。あまり難しい事は言わず、他の競技を例に出し、例えば「サッカー選手はピッチに入る際、お辞儀するよね・野球選手もグランドに入る際、帽子をとつてお辞儀するよね……それと同じだよ」と。

ただ、授業が進むにつれては武道の教えの礼法を生徒たちには伝え指導しております。

次に手刀を竹刀に変え、最後に防具をつけて基本動作を行ないました。最終的に五人一組になり、二人が試合者、三人が審判の形をとり、それぞれ「氣合い」「打突部位」「体さばき」の判定をしました。その他にも「木刀による剣道基本技稽古法」、音楽にあわせて行なう「リズム剣道」等があります。



そして、剣道経験の無い中学生による悪ふざけ等思慮を欠いた行動の抑止、竹刀防具等の破損による事故等、安全面への留意も必要です。

今後は授業協力者への研修が多く開催されると思われます。「剣道の稽古を通して人を育てる」という理念の下に、中学生の心身の育成や剣道の楽しさを広めるためにも、ぜひ研修にご参加下さい。

足捌き・素振りと基本動作を繰り返し行いますが、生徒たちの中には飽きが出てくる生徒も見えますので内容に工夫をこらしながら行います。

第四章 防具の管理

授業が進み防具を着ける段階では、まず「手ぬぐい」「防具」の着け方の指導を行います。

この段階で生徒へは「防具は自身を守るもの、結び目には気持ちを込めて結ぶよう」丁寧に指導します。

学校によつては私が、その学校へ勤務する前段階で体育教諭の方で事前指導という形で「手ぬぐい」や「防具」の着け方を指導していただけた場合もありますので、最初にも申しましたよう、体育教諭との事前打ち合わせは大切になつて参ります。初心者には防具の着け外しに大変時間が掛かることであり、ましてや学校の授業となると時間の確保が難しい現状があります。ある学校の取り組みでは防具の管理は「買ひものカゴ」の中に収納する方法を取らさせて頂いております。カゴの中に胴・垂れ・面、最後に小手を入れ紐は結ばず、紐もカゴの中に入れるのみ。



また、ある学校では「面」と「小手」は戸棚の上（日が当たる場所）、「胴」と「垂れ」は戸棚の中に区分して保管することによって時間の確保が出来ます。防具の数によっては男女使用する場合には、保管場所も変えて男子の保管場所・女子の保管場所を変える工夫もしています。授業中、防具の紐が外れた生徒には正座して防具を直すように指導し、着け直したら体育教諭に確認してもらひ元に戻るよう伝えます。



第五章 まとめ

外部指導員としての心構えとして学校の校風なり、クラスや体育教諭の雰囲気を把握して、授業内容や指導形態を考えることが一番大切ではないかと感じております。

以前、外部指導者の剣道の先生と

体育教諭と授業内容・指導形態でちょっととしたズレが生じて、翌年その外部指導者に要請がなくなつたと聞いたことがあります。

武道必修化に伴い学校現場は外部指導者の要請に期待している半面、学校には学校の事情や教育方針がある。

だからこそ、校風や現場の教師に合わせて妥協できるところは妥協するという柔軟な姿勢も外部指導者には必要ではないかと感じております。

最後に多くの先生方が外部指導者としてご指導されているいると思いまので、お互いの指導法や学校現場での今

後の課題を話せる場（講習会開催）などを愛知県剣道連盟主催や各市町村教育委員会主催で研修会などを開いて頂けますことを願い、私の経験談を述べさせて頂きました。



居合道だより

居合道委員長 松岡 良高

た人間形成が求められています。
「居合に命を吹き込め」
動作ではなく、仮想敵を意識した、要義の居合を学ぶことが大きな目的です。

礼儀作法・攻め・間と間合い・刀法・心法・身法を学び、自己の研鑽をしなければいけません。

昭和四十五年五月、剣道と居合道は極めて密接な関係がある。

いやしくも剣道人ならば、少なくともこの程度は知つている……。

全剣連居合は、居合道の基本的なもの（技）は八・九分どうり網羅され、入門としては充分と思うが、居合道はこれに尽きることなく、その技および応用は多岐に亘り奥深い面もあるとして七本の技で制定されました。昭和五十五年に三本が追加され、平成十二年に二本が追加され現在十二本の技になつております。

全剣連居合は、一つの古流のような存在で全国で多くの人が稽古され大きく発展しております。

全剣連では中央講習、地区講習を開催し「正しい全剣連居合」の普及・発展に努められております。

居合道も「剣道の理念」に基づいて



開催し、平成二十二年からは、小倉昇範士をお迎えしてご指導を頂いております。

安永範士・小倉範士の両先生は、愛知県の講習会では、剣連の会長・理事長先生が終始見守つてくれている、プレッシャーではあるが嬉しい、愛知県剣道連盟の居合道に対する取組が伺えると言われます。

我々は感謝を忘れずに受

講しなければいけません。

安永先生には、日常生活

すべてが居合道であると

教えられました。小倉先

生は、基本が全てと言わ

れ、基本動作をご指導頂き

き「執刀箸の如し」自己

の意識がなくてもできる

ようになるまで稽古をせよ！

「斬韻あり」斬りには余韻がなくてはいけない、

残心の窮地を教えられました。

この基本動作は、毎月開催される県の合同稽古会には県下各地から四十人を超える参加者がいます。また、年間五回高段者講習会も開催されております。



愛知県剣道連盟は、居合道に深い理解を頂き、平成二十年に全剣連派遣の講習会を開催し、居合道委員の安永範士をお迎えして、第一回目の講習会を開催して以来、毎年

お陰様で居合道六・七段合格者も開催されています。

大変喜ばしい次第であります。桜丘

は予選リーグで酒田光陵（山形）、鹿

児島商業に二勝し、決勝トーナメン

トでは、小山（栃木）に圧勝し、準々

決勝で九州学院（熊本）に二対一で

惜敗でした。愛工大名電は津山工業

（岡山）、啓新（福井）を予選で退け

ましたが、決勝トーナメント一回戦

で島原（長崎）に敗れました。女子

は星城と岡崎城西が参加しましたが、

ともに予選リーグで敗退しました。

男子は試合内容も態度も立派でした。

インターハイでの活躍が期待されま

す。女子はもう少し地力をつける必



要を感じました。大会は、男子は九

州学院が一年連続六回目の優勝。女

子は麗澤瑞浪（岐阜）が二年連続二

回目の優勝で幕を閉じました。ご協

力をいたいた皆様にあらためてお礼

を申し上げます。

◇ 第67回愛知県中学校総合体育大会の結果について

告を終わります。

平成二十五年七月三十日(火)、東海

市民体育館にて、団体男女各二十四

チーム、個人男女各四十八名ずつ参

加し、熱戦が繰り広げられた。結果

は次の通りである。

優勝 西尾市立平坂中学校



（男子の部）（準々決勝）鶴城三一

木曾川、西尾三一一春日井中部、平

坂四一〇津具、下山二一一犬山南部

（準決勝）西尾二一一鶴城、

平坂三一一下山

（決勝）平坂四一〇西尾

優勝 西尾市立鶴城中学校



— 24 —

中体連だより

団体戦



※男女優勝チーム全国大会出場



個人戦

（男子の部）

優勝 鈴木雄弥（平坂）

準優勝 森 悠貴（春日井中部）

第三位 山田 慎（山田）

第三位 芳賀哲士（下山）



（女子の部）

優勝 安藤千尋（南山）

準優勝 佐久間悠実（柏原）

第三位 稲垣如乃（鶴城）

第三位 高須未波（西尾）

※男女優勝・準優勝者全国大会出場



◇ 第35回東海中学校総合体育大会の結果について

今回は東海ブロックで全国中学校

大会の開催のため種目ごとに分散開

催となり、剣道は岐阜県での開催で、

岐阜メモリアルセンターにて、平成

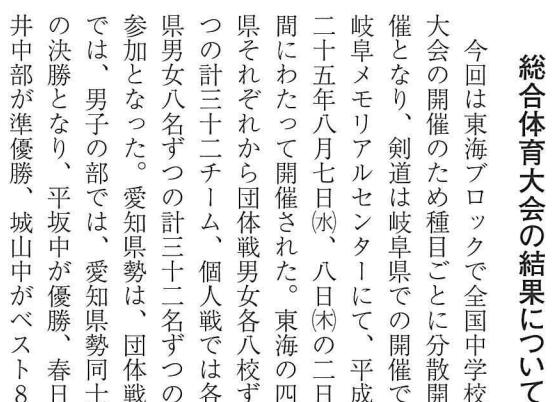
二十五年八月七日(水)、八日(木)の二日

間にわたりて開催された。東海の四

県それから団体戦男女各八校ず

の決勝となり、平坂中が優勝、春日

井中部が準優勝、城山中がベスト8



団体戦（関係分）

（男子の部）

優勝 西尾市立平坂中学校

準優勝 春日井市立中部中学校

準優勝 春日井市立中部中学校

個人戦

（男子の部）

優勝 片桐明信（矢作北）

準優勝 森 悠貴（春日井中部）

三位 鈴木雄弥（平坂）

三位 鈴木涼也（西尾）



（女子の部）

ベスト8 高須未波（西尾）

（女子の部）

ベスト8 高須未波（西尾）

入りを果たした。一方女子の部では、西尾がベスト8入りした。また、個人戦では男子の部で愛知県勢四名がベスト四を占め、愛知県勢同士の決勝戦となり、片神（矢作北）が見事優勝を果たした。

結果は次の通りである。

（男子の部）

優勝 西尾市立平坂中学校

準優勝 春日井市立中部中学校

（女子の部）

（準々決勝）西尾東部三

尾四一一金屋、福地三一〇豊川中部、西

尾五一一鶴城（準決勝）西尾東部、西

尾五一一鶴城（決勝）西尾

（女子の部）（準々決勝）西尾東部三

尾四一一金屋、福地三一〇豊川中部、西

尾五一一鶴城（準決勝）西尾東部、西

をした覚えがあります。その後、愛知県剣道連盟主催の八段受審者講習会に参加して、二分間の立会の仕方についていろいろ教えていただきました。今回意識していたのは、剣道の勢い、技を出したときに打ち切ること、そして、日本剣道形の仕太刀の心境で立会に臨むことです。仕太刀の心境で立会をするには、相手の

八段1次審査（H26.5.2 京都）



西三河 杉浦雅人

八段にご昇段された先生方

平成二十四年十一月 東京武道館で開催された審査会で昇段させて頂きました。

今回、一次で面を着け待っているときに、何も頭の中に思い浮かびませんでした。今からの立会で、どうしたいという気持ちが起こりません。自分では、とにかく立会に集中しようと、ゆっくり深呼吸をしていまし

稽古の回数を増やすと共に、動ける動きに対して無意識に体が動くことが大切だと思います。そのためには稽古の回数を増やすと共に、動ける体作りをしました。

審査では、考えて打つことより、体が自然に動いて技を出せたことが一番よかつたのではないかと思つて います。

私は、平成二十五年五月京都において行われました剣道八段審査会に幸運にも五回目で合格させていただきることができました。四回目までは自分勝手に技を出したり、構えを意識するあまり硬くなってしまい、逆に技が出せなくなったりしていました。合格した五回目は審査員はどこ

居合道七段(二十五年十一月十六日)	岡田敬次郎(72)
(江戸川)	
栗山猛行(32)	栗山猛行(32)
奥村樹(30)	奥村樹(30)
神崎大悟(30)	神崎大悟(30)
神谷友和(30)	神谷友和(30)
羽田野勝利(31)	羽田野勝利(31)
桑山利毅(33)	桑山利毅(33)

河西	勝(43)	(枇杷島)
馬場	隆(45)	
芝山博樹	47	
廣國憲治	58	
松下修二	49	
原田民治	59	
村井安輔	61	
三鍋洋太郎	(73)	
大島順子	54	
田邊満也	70	
武田俊子	48	
村瀬美貴男	58	
加藤博望	62	
剣道五段	(二十五年十一月二十三日)	
劍道五段	(二十五年十一月二十三日)	
相原匡紀	26	
渡部幸貴	27	
(知立)		
上原太陽	26	
山田晃平	(27)	
村雲生郎	(27)	
村瀬直樹	25	
上原太陽	26	
山田晃平	(27)	
須賀桂輔	(60)	
黒木俊男	(59)	
山田	樹(49)	
鈴木秀明	(52)	
永尾孝広	(46)	
石川	力(68)	

大喜多正毅	(36)	藪谷 正	(33)
山本剛史	(38)	弓場光寿	(36)
下市孝昭	(39)	中野顕正	(38)
伴 浩仁	(40)	今別府昭博	(39)
日原基裕	(44)	多治見達司	(40)
安藤博一	(48)	兼川洋	(46)
西山直幸	(50)	山田幸正	(50)
早川宏也	(52)	奥野地生	(51)
野田修司	(58)	中川亨史	(58)
麻野間政善	(63)	八木 知	(62)
高島奈美	(24)	堀本勇二	(65)
山本律子	(40)	荒川ひとみ	(38)
松田麻希子	(41)	奥村由紀子	(41)
近田治美	(43)	吉野仁美	(42)
剣道六段	(二十五年十一月二十五日)	金田志げ子	(44)
居合道五段	(二十六年一月十九日)	(東京)	(岩倉)
小塚和典	(52)		
ダービット	スミツツ		
宮崎勝介	(49)		
イレインバン	クルツカー		
杖道五段	(二十六年三月二日)		

中島康晴(51)
藪野秀憲(67)
塚原芳幸(60)
伊藤みよ子(66)
(刈谷)
劍道八段(二十六年三月二十九日)
(岡山)
木下仁(65)

最後に、この度八段審査合格にあたり、これまでご指導してくださった諸先生、諸先輩、剣友、理解ある職場の上司、支えてくれた家族に感謝し、この場をお借りしてお礼申しあげます。



尾南
木下
仁

本年三月二十九日、岡山県で開催されました剣道八段審査会において、皆さま方のおかげで六十五歳という年齢で合格させていただきました。

受審回数は三〇回以上ではないかと思います。一次審査合格は六度目、二次審査はもう一歩ということもあつたことから途中で受審を止めようという気持ちも起らなかつたが努力もせずただ漫然と稽古し、甘い気持ちで自分の夢を実現させるために受審してきました。

刑務官を退職してからは小中学生高校生の指導が中心の生活でしたが、「もっと強くなりたい。もっと上手になりたい。絶対に八段をとる」と

お蔭様で名古屋へ参った不安も消え剣道を続けていて本当に良かったと思いました。この地で沢山の方々と知り合い多くの友人を得ました。野外の稽古から中学校の体育館また近くの空手の道場をお借りして室内で稽古ができる様になり、ホッとしました。私も剣道の素人です。基礎・基本を教えて下さる先生をさがしました。お陰さまで先生先輩方に恵まれ、子供達共々成長させていただきました。

今回の七段審査も七〇歳を過ぎ、我が家でもお互いを支え合わなければならぬ年齢になり、今回「一回限り」と悟悟を決め審査に臨みました。七段審査は長い間の私の夢でもありました。その為の準備も致しました。まず二十数年ご指導をいたしました多くの資料を書き留めてきた物を整理して、自分は何をしなければならないのかを書き出しました。それを毎日読み返して稽古に臨みました。

その結果夢を叶えさせていただきました。先生方の教えを素直に「出しきつた」と思っています。今日までご指導を頂きました諸先生方、先輩、朋友、女子剣友の皆々様そして

が三十四歳の時でした。きっかけは娘の一言でした。「剣道をやってみたい！」。剣道？男の子のすることだとあまり賛成は出来なかつたのですが、息子もやると言い出し、それなら私も見学しているだけではつまらないということで、家族四人ほどの同時に始める事になつたのです。

現在の藤山台剣友会を主人が立ち上げ、会員は当時八人。指導者として今は亡き故宮林伯次先生を訪ねお願いをしました。とても厳しくそ



尾張
大島
溢

金道と私

子供達 家族の協力のお蔭と本当に多くの方々に支えられて頂きました事、感謝の気持ちでいっぱいです。さいます。心より厚くお礼を申し上げます。年齢を増しても正しい剣道が出来、明日も又お稽古をお願い出来ます様に心掛けます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

の年齢よりも若い動きのある剣道を行い、同年齢の方々よりもひときわ目立つ剣道ができるようと考えて稽古しました。

退職後は仕事をしていなかったため昼間は時間があることから、恩師である榎原正先生の「求める味」を何度も読み返して竹刀を持つなど、常に頭の中を剣道中心の生活になりました。

審査当日は一次審査、二次審査とも不思議なほど落ち着いた気持ちで臨むことができ、審査で意識したことは、大きな気合の入った掛け声、下丹田に力の入れ具合を特に意識しました。

いう気持ちが強くなり、自分をもう一度鍛え直すために東海地区の稽古会、県の稽古会には積極的に参加して八段の先生方に稽古を付けていただき、ご指導をいただくように心掛けました。また、週一回の名古屋拘置所での稽古は、若手と一緒に打ち込み、基本技を中心に行い、意識して体の切れ動きをよくするように行うと同時に、過去數十回の八段講習会での各先生方のご指導を思い出しながら稽古を行いました。

康な体を授けてくれた両親、妻の理解、そして桜ヶ丘高校の恩師疋田勝夫先生、愛知学院大学の恩師鈴木守治先生、刑務官勤務時の恩師榎原正先生、東海学生剣道連盟の林邦夫先生、高校、大学の先輩の大嶽将文先生、さらに渡並直先生をはじめとする愛知県剣道連盟の八段の先生方、諸先輩、後輩また稽古をいたもだいた方々のおかげで合格できたものと思ております。心から感謝と御礼を申し上げます。



八段2次審査(H26.5.2 京都)

で優しい先生でした。何も知らない初心者の私達に礼法、竹刀の握り方から始まり、気剣体一致の面打ち、連續打ちと基本重視の大変密度の濃い指導をしてくださいました。

ママさん剣士はまだ少なかつたのですが子ども達と共に稽古に参加し剣道の楽しさを覚えていきました。

家族で夢中になり、家に帰つても稽古の内容など色々な会話で盛り上がり楽しい日々を過ごしてきました。

そのうち、自分の道場だけでなく、他の地域の剣士の方々との交流も樂しみとなり、稽古の声がかかれば所構わぬ参加するようになりました。また警察特練生の試合や多くの大会によく連れて行つてもらいました。

さて頂いたりと東京へ機会を生じ
し勉強もできました。これもたくさ
んの優しい先生方のご指導と、一緒に
に励ましあつてきました女性剣士の皆様
のおかげと感謝の気持ちでいっぱい
です。

昨年十一月思わぬ一大事がおき、
嫁が六段、私自身が七段に合格しま
した。夢のようでした。皆様に祝福
して頂き本当にありがとうございました。
した。

これからも前向きに稽古に励み、
この年齢まで剣道ができる事を皆さ
んに知つていただき励みにして頂け
たらと思います。元気のある限りた
くさんの女性剣士の仲間たちと共に
生涯剣道を目指していきたいと思いま
す。

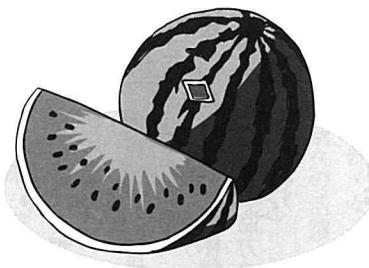
昭和五十三年八月、主人の転勤に伴い東京から名古屋市名東区高針の地へ移住してまいりました。剣道歴は本年で三十六年になりました。

右も左もわからない不安の中で現在の名二環（環状2号線302号）建設予定地がまだ石ころと草茫々としていた頃、その中で息子と二人で素振りをしておりました。その姿を見てご近所のご父母の方から自分の息子も仲間に入れて欲しい旨の依頼を受け十数名になりました。何分野原での稽古ですので、雨が降れば、近所の軒下へ走り込みました。雨が上がればまた石ころを取り除き運動靴で打ち込み稽古を行いました。そのため袴は泥跳ねでお母さん泣かせました。高針の地で友達ができる記念に「高針剣友会」と名付けて皆さんなど楽しく剣道ができたら良いと思

A black and white oval-shaped portrait of Dr. Yoko Kondo, a woman with short, curly hair, wearing a patterned top.

名古屋原邦子

女性剣道七段の誕生続く



地区だより

【尾張剣道連盟】



吉原辰美

昇段審査の推移

剣道における尾張地区の範囲には非常に広いものがあります。従来初段から三段までの審査を受ける場合、尾張部の中心ということで、一宮、江南、春日井方面の何処か一か所で形・実技を実施してきました。そのため、西の方では弥富市を中心とした海部南部地方から、また東の方では、日進市方面からと、遠方まで足を伸ばさざるを得なませんでした。

平成二十一年度役員会にて、受審者の便宜を図るために、受審会場を増やす案が検討されました。その結果、

春は形講習・審査会場三か所、実技審査会場二か所、夏も形講習・審査会場三か所、実技審査会場一か所。

秋は、形講習・審査会場三か所、実

技審査会場一か所となりました。

受審者の多い春と夏に大幅に会場を増やしました。前記の通り東地区と南地区、従来からの中心地区と分散させて行っています。

受審会場の増加のみで受審者が多くなったわけではなく、折からの中学校武道必修化とも相まって、受審者増につながったものと思われます。

初期に心配していた、対経費との兼ね合いは受審者増で杞憂となりました。

初段から三段の受審者数は確実に増加しています。

平成二十一年度受審者合計が一千八百六十七人、翌二十二年度は一千九百三十七人、平成二十三年度は一千九百七十四人、平成二十四年度二千百十一人、昨年平成二十五年度は二千二百九十人と右肩上がりであります。

何時までもこの傾向が続くとは思われませんが、「受審者の便宜を図る」という初期の目的は大いに達したのではないかと思われます。

われませんが、「受審者の便宜を図る」という初期の目的は大いに達したのではないかと思われます。

わかれます。

八月には市民スポーツ祭、小・中・高・区対抗の四部門が三日間に分かれ繰り広げられます。

八月にはスポーツ祭、小・中・高・区対抗の四部門が三日間に分かれ繰り広げられます。

六月には第十一回名古屋市選手権大会、小・中・高生対象で約千名の参加があります。

八月には市民スポーツ祭、小・中・高・区対抗については名古屋十六

開会式において、富田孝夫前会長へ感謝状を贈呈致しました。東三河県

道連盟の事務局、理事長、会長と半

世紀に及ぶ重責や推進振興に多大な貢献をされた功績であり、会場から

温かい拍手が起りました。長い間本当にありがとうございました。

本年度より、公認審判員の四年に一度の更新制に改めるようになり、

審判員の質の向上と各自の切磋琢磨を願うものです。この方針により東

三河剣道連盟の先生方を一堂に指導する講習会を開催しました。講師の

先生は、八段の畠山隆吉先生の指導のもとで進められました。宣告の仕

方の基本的な動作、審判員の位置取り、有効打突の見極め等々審判員の

任務・判断の仕方を研修することができました。試合者や観衆が納得できる各大会になることを祈りたいと

思います。少年、中学生、高校生が生涯体育剣道を通して、人間形成の道を求めた剣道となることを期待したいと思います。

【東三河剣道連盟】



田中源五

生、一般の男女の個人性が毎年六月に開催され、千名にも及ぶ参加者が十会場で試合が展開される最大イベントであります。今年は、この会の開会式において、富田孝夫前会長へ感謝状を贈呈致しました。東三河県道連盟の事務局、理事長、会長と半世紀に及ぶ重責や推進振興に多大な貢献をされた功績であり、会場から温かい拍手が起きました。長い間本当にありがとうございました。

本年度より、公認審判員の四年に

一度の更新制に改めるようになり、

審判員の質の向上と各自の切磋琢磨を願うものです。この方針により東

三河剣道連盟の先生方を一堂に指導する講習会を開催しました。講師の

先生は、八段の畠山隆吉先生の指導

のもとで進められました。宣告の仕

方の基本的な動作、審判員の位置取

り、有効打突の見極め等々審判員の

任務・判断の仕方を研修することが

できました。試合者や観衆が納得できる各大会になることを祈りたいと

思います。少年、中学生、高校生が

生涯体育剣道を通して、人間形成の

道を求めた剣道となることを期待したいと思います。

きましたこと大変感謝いたしております。

本連盟の発展を鑑みると、高段者の合格率が芳しくないと言われた時もありましたが、ここ数年の七段位合格率はもちろん、何といつても剣道八段が三年連続で誕生されている間に今では七名になりました。西三河剣道連盟が行う稽古会は、月一の合同稽古会と各地区持ち回りの月一の稽古会、女子部稽古会そして高齢者稽古会です。それに加え中学生の強化練習会も年五回行っています。八段の元立ちも増え、益々充実した稽古会へとなつて参りました。今年度は隔年で行う県外交流稽古会も十二月に和歌山で行う予定であります。



【尾南地区剣道連盟】

山田政晴

尾南地区居合道部二十五周年

平成二十五年六月九日(日)

半田市青山記念武道館において、

第二十五回記念尾南地区居合道大会

が盛大に開催されました。

開会式では、光永勉理事長が居合道部の長年の功績を称え、

模範演武は教士八段瀧順一先生、

教士七段吉尾豪先生をお迎えして

「無双直伝英信流太刀打ちの位」をご披露頂きました。

模範演武の後、鈴木先生、一丸先生指導の下、各段位に分かれ講習会が行われ午前の部を終了しました。

午後より段別大会に、四十五名の参加があり、鍛成の成果を充分に發揮された演武が披露され盛況の内に終了致しました。

また、尾南地区女子部も二十周年を迎えた組織も充実し、現在、山崎広

【名古屋市剣道連盟】



古賀萬須美

名古屋市剣道連盟の今年度大会を紹介致します。

四月に行いました第五十五回金鯱旗争奪剣道大会(県護国神社奉納)

この大会は愛知県下の高校唯一の勝抜トーナメント戦で今年は過去最多の参加チームを迎え、各学校共一層熱の入った試合になりました。

六月には第十一回名古屋市選手権大会、小・中・高生対象で約千名の参加があります。

八月には市民スポーツ祭、小・中・高・区対抗の四部門が三日間に分かれ繰り広げられます。

十月にはスポーツ祭、小・中・高・区対抗については名古屋十六

開会式において、富田孝夫前会長へ感謝状を贈呈致しました。

六月には第十一回名古屋市選手権大会、小・中・高生対象で約千名の参加があります。

八月には市民スポーツ祭、小・中・高・区対抗で名古屋まつり大会

会、小・中学生対象。

十一月には中学新人戦(兼県春季予選)と組み込まれています。

このほか各地においても恒例の区民大会が催されています。

市剣連としましても精一杯努力致してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

選手、父兄、役員各位の皆様方は大変なことだと思います。

民大会が催されています。

市剣連としましても精一杯努力致してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

【西三河剣道連盟】



手嶋道雄

本連盟は、昨年創立六十周年を通じて記念行事を行って参りました。

その中でも各大会を記念大会として、参加記念として、渡並会長の取り組みにより、三河の地徳川家にゆかりの深い日光東照宮の官司さんに揮毫していただいた「恕」の面手拭いを配布できることは大きな記念となりました。行事最後の剣道祭には、愛知県剣道連盟の役員の皆様はじめ各地区の方々にご臨席を賜り、盛会裏に六十周年を締めくくることができました。

その他、県、五地区事業にも積極的に参加し、大きな大会での入賞を期待しているところであります。

稽古会においては、月例稽古会は無論のこと、三ヶ月に一度は、各市町間意識を高めるため、各種大会に「尾南女子」の団体名で出場を果たしています。

その他、県、五地区事業にも積極的に参加し、大きな大会での入賞を期待しているところであります。

(評議員は平成二十七年まで任期)

強化 指導普及

審査会

○○ ○○ ○○ ○○
 山平東畠東倉北穂山尾森田稻平大堀祝富山東神山伸黒西山塩森
 崎井山井成村園崎野島中吉原河山田崎由谷口田川野口野島
 道良隆一美朱健真元博直輝鉄健要仁広美輝照泰絃和谷直
 尚典美吉良幸美治一孝尚之子志悟稔彦治司美子彦義修彦一義厚子

事務局 医療

杖道

居合道

○○ ○○
 伊濱玉牧竹大増宍羽中小前富三佐水鈴前瀧松勝白宮倉北穂
 藤木内仲健太戸野佳六新芳邦一利順良裕正健真元
 国十糸子翠恵仁郎隆夫嗣男吾隆郎夫隆彦和一高郎章充治一孝

剣道・居合道・杖道

平成26年7月1日(改定)

段級	審査料	登録料
8～2級	1,000円	2,000円
1級	1,100円	2,600円
初段	2,000円	5,300円
式段	2,200円	6,300円
参段	3,100円	9,200円
四段	3,900円	11,300円
五段	4,900円	17,500円
六段	11,300円	38,300円
七段	14,400円	61,800円
八段	17,500円	90,000円
称号		
鍊士	17,900円	50,400円
教士	25,700円	72,000円
範士		105,000円

*審査日前日までに満七十歳になった方は、登録料半額。
 一級受験に際し、加盟金(終身)五、〇〇〇円を納入して、愛知県剣道連盟に加盟しなければならない。

参与相談役副会長

伊丸細水木坂牧林近翁池菅和松鈴勝山森杉後渡北大富
 藤山田野谷本田野藤長内沼田本木股本田山藤並村脇栗田
 一清辯八徳三平邦勁良秀幸伊健寿重孝英正七孝
 彦司郎郎正夫郎登夫助明夫夫功武一彦夫力雄壽直豊郎生夫

常任理事長

古田東高渡東大祝白塩光尾松安山市牧山青瀧水東松日水細
 賀中山邊嶽井谷永野本部口川野本山野下野谷川
 萬輝良潤一將要孝博利秀昌武武允幸順日明隆好
 須美志美一香良文司一厚勉之幸利宏利賢圓光一隆男房夫助昌

評監

議員事

深水山久長上吉寒倉二熊新中熊白平田東三松宮山田稻畠山大堀丹平

谷田田保良北原竹田橋本美川澤石井村澤岡崎崎中吉山口田山羽原

昌政多武輶辰富千邦治洋裕道彰由芳良正源隆和義健正

司涉晴史司也美雄明隆尋廣彦二章典浩子郎高充尚五悟吉義弘治則稔

広報資料 財務 ◎は正、専門委員会

○○ ○○ ○○ ○○ ○は副委員長
 中村井登志美隆武裕利賢源隆萬須美彰正潤義孝
 笹井村田石崎本沢中野萬須美彰正潤義孝
 内井村田石崎本沢中野萬須美彰正潤義孝
 白井村田石崎本沢中野萬須美彰正潤義孝
 大長田日古光田丹高大白
 松長田日古光田丹高大白
 長田日古光田丹高大白
 丹高大白

小合加松山富杉藤手榎渡
 林原藤下本田浦坂嶋本並
 尚忠明允孝正彰道鐘
 美厚則房圓夫人一雄司直

NEW

【各種要項】に以下の審査会要項を掲載いたしました。

- ・剣道七段および六段審査会(愛知)要項
- ・剣道六段審査会(東京)要項
- ・剣道七段審査会(東京)要項
- ・剣道八段審査会(東京)要項

【大会結果】に以下の大会結果を掲載いたしました。

- ・六団体対抗剣道大会

【審査結果】に以下の審査会合格者を掲載いたしました。

- ・居合道講習及び審査会(H26/1/19)4段・5段合格者

【各種要項】に以下の審査会要項を掲載いたしました。

- ・居合道六段および七段審査会(岡山)
- ・剣道四・五段審査会(北)

【大会結果】に以下の大会結果を掲載いたしました。

- ・愛知県居合道選手権大会
- ・愛知県女子剣道選手権大会

**一般財団法人
愛知県剣道連盟**

<http://www.aichi-kendo.jp/>

現在、各大会及び審査会の要項は、約一ヶ月前には当連盟ホームページに掲載しております。また大会申込書以外にも、審査会申込書、加盟(入会)手続書がダウンロード出来るようになりますので、必要な方は各種要項のページにあります剣道、居合道、杖道のタブよりご確認下さい。

なお、全日本剣道連盟主催の大大会結果、審査結果等は出来た後、当連盟ホームページに掲載いたします。

全剣連のホームページは当連盟のリンクページ、関連団体タブよりも確認いただけます。

また岐阜剣連、三重剣連、静岡剣連ホームページへのリンクもし

てあります。

当連盟ホームページへのアクセスは「愛知県剣道連盟」で検索していただくか、上記アドレスを直接入力して下さい。

では、全剣連ホームページに掲載されていますが、多少のお時間を要する場合もございますので何卒ご了承下さい。

さて、各大会及び審査会の要項は、約一ヶ月前には当連盟ホームページに掲載しております。また大会申込書以外にも、審査会申込書、加盟(入会)手続書がダウンロード出来るようになりますので、必要な方は各種要項のページにあります剣道、居合道、杖道のタブよりご確認下さい。

なお、全日本剣道連盟主催の大大会結果や、審査会(六、七、八段、称号審査会)の合格者につきましては、全剣連ホームページに掲載後、当連盟ホームページに掲載いたします。

愛知県剣道連盟ホームページ案内

五地区剣道連盟所在地

尾張剣道連盟	理事長 渡邊 香	事務局長 吉原辰美
〒491-0903 一宮市八幡4-1-28	一宮市武道館内	TEL 0586-43-1023 FAX同じ
名古屋市剣道連盟	理事長 尾野博之	事務局長 古賀萬須美
〒454-0022 名古屋市中川区露橋1-31-20	富士見ビル2-G	TEL 052-361-8073 FAX同じ
西三河剣道連盟	理事長 堀山健治	事務局長 手嶋道雄
〒471-0813 豊田市野見山町3-78-14	手嶋様方	TEL 0565-89-3274
東三河剣道連盟	理事長 白井孝一	事務局長 田中源五
〒441-1206 豊川市篠田町割塚26-3		TEL 0533-93-3621
尾南地区剣道連盟	理事長 光永勉	事務局長 山田政晴
〒479-0862 常滑市小倉町5-48	山田様方	TEL 0569-42-3895 FAX同じ

中日新聞社

成績の持参またはファックス先は以下の通りです。

◇本社(名古屋市中区3の丸1ノ6ノ1)
FAX 052(201)4331

問い合わせは 電話 052(221)0793

◇豊橋支局(豊橋市八町通3ノ91)
FAX 0532(54)4655

◇岡崎支局(岡崎市東明大寺町16ノ18)
FAX 0564(25)1554

◇豊田支局(豊田市美山町3ノ34ノ34)
FAX 0565(25)1118

◇一宮支局(一宮市大江1ノ13ノ13)

FAX 0586(72)5035

◇半田支局(半田市出口町1ノ45ノ18)

FAX 0569(23)2372

◇春日井支局(春日井市鳥居松町3ノ60)

FAX 0568(81)2797

読売新聞社

FAX 052(211)1085

取材に来てくれることもありますので、先ず一報を

広報資料委員会のメンバー



前列左から、笹井美幸、大崎保(副委員長)、安部秀利(理事長)、松本利幸(委員長)、中村登志子、後列左から、白石裕章、竹内康恵(事務局長)、中村隆信、内田武夫、森島直子(円内)

ト
報

平成二十五年四月一日
二十六年三月三十一日

青山定男先生(享年八十八歳)	原由一先生(享年九十歳)
平成二十五年九月二十八日ご逝去	平成二十六年二月二十八日ご逝去
剣道範士八段	剣道教士七段
県連盟相談役	県連盟元評議員
濱田修作先生(享年九十歳)	濱田修作先生(享年九十歳)
剣道教士七段	剣道教士七段
県連盟相談役	県連盟相談役

広報「観の眼」第三十八号

平成二十六年九月一日発行

一般財団法人 愛知県剣道連盟

〒451-0035
名古屋市中村区十三町十一番
二十二号

FAX<052>481-10093
電話<052>481-10095

題字・故竹田弘太郎名誉会長